

## 教育基本法改悪反対

●こんにちは、日本共産党です。  
いま、国会にたいへんな悪法がだされています。教育基本法を大改悪し、国のいうことになんでも従う子どもをつくる教育に変えようというのです。こんな重大な法案を、短い時間でこり押しすることは許されません。  
私たち日本共産党は、子どもたちのすこやかな成長のために、教育基本法の改悪にきっぱり反対し、みなさんと力をあわせて廃案にすることをめざします。

●みなさん、自民党、公明党は、教育基本法を変える提案をしておきながら、その理由をまともに説明できません。それどころか、少年犯罪やライブドア事件、耐震偽装事件など、みんな教育基本法のせいだ、などとまったく無責任なことを言っています。どの問題も、自民党政治こそ原因ではありませんか。

教育基本法は、すべての子どもたちの「人格の完成」をはかることをめざす「教育の憲法」です。日本共産党は、教育基本法の、この理念を生かした教育こそ、子どもたちのすこやかな成長をはかる道だと考えます。

●みなさん、自民党、公明党は、「国を愛する態度」など二〇項目もの「徳目」を「教育の目標」にかかげ、その「達成」を学校と子どもたちに義務づけようとしています。

私たちは、子どもたちが「市民道徳」をしつかり学ぶことは大切だと考えています。よその国を目の敵にしたり、ちがう民族をさげすんだりせずに、国を愛し、世界の人びととの友好をひろげることも、そういう大切な「市民道徳」の一つです。

しかし、それは法律で義務づけ、強制されてつくられるものではありません。ときどきの政府が、特定の価値観を強制することは、子どもたちの柔らかい心を政府の鑄型にはめこみ、憲法が保障した思想・信条の自由をふみにじることであり、絶対に許せません。

●みなさん、教育基本法は、国による教育内容への「不当な支配」をきびしく禁止し、教育は、ときの政府のためではなく、国民のためにおこなわれるべきだ、とはつきり書いています。教育が、国家権力にコントロールされた戦前への深い反省があるからです。

ところが自民党、公明党は、その条文をつくりかえ、国が命じる法律どおりに、政府の決める計画どおりに教育をやれというのです。教育、学問の自由は、憲法で保障された国民の権利です。教育基本法改悪案は、それを乱暴にふみにじるものであり、日本共産党は絶対に反対です。

●みなさん、自民党、公明党は、なぜいま教育基本法を変えようというのでしょうか。  
そのねらいは、国がやることに従順にしたがう子どもたちをつくりだすことです。

教育基本法の改悪は、憲法を変える動きと一体です。憲法9条を変え、「海外で戦争をする国」をつくり、そういう国に忠誠を誓わせようというのです。

自民党、公明党がすすめる弱肉強食の競争経済で、「負け組」になっても文句をいわない人間をつくるためのものです。

日本共産党は、こうしたくわだてにきびしく反対します。

●子どもと教育の現状に心を痛めるすべてのみなさん、平和と人権、民主主義を大切にしようと呼ぶすべてのみなさん、ともに手をたずさえて、教育基本法の改悪をやめさせましょう

以上